



パンダが食べ残した竹から生まれたテーブルウェア「PANDAYS」 「2023年度グッドデザイン賞」を受賞



GOOD DESIGN AWARD
2023年度受賞

P A N D A Y S

パンダが食べ残した竹から生まれたテーブルウェア

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）では、ジャイアントパンダが食べない竹の幹の部分や食べ残した竹、糞を有効資源としてアップサイクルするパンダバンブープロジェクトを行っています。プロジェクトの一環として、パンダが食べ残した竹の集成材を用いたテーブルウェア「PANDAYS（パンデイズ）」が2023年6月に完成しました。このたび、試作モデルを出品し、「PANDAYS」が2023年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしましたのでご報告いたします。廃棄せざるを得ない竹の循環活用、竹林の繁茂による竹害という社会課題を啓発するための媒体として、パンダの食べ残しを利用するという点や、日々の暮らしの中で使ってみたくなる道具として魅力的なデザインである事を評価いただきました。

アドベンチャーワールドはこれからも、自然や資源が循環・再生し、豊かな社会が実現するようにするよう、活動し続けてまいります。

【パンダが食べ残した竹から生まれたテーブルウェア「PANDAYS」について】 <https://www.aws-s.com/pandays/>

ジャイアントパンダが食べ残した竹を集成材へと加工。

和歌山の伝統的な木工技術により製作したテーブルウェアが

「PANDAYS（パンデイズ）」です。

アドベンチャーワールドのパンダたちが食べ残す竹や竹の葉を調達する際に廃棄する竹幹や枝葉は、合わせて年間100トン（※1）にものぼります。

「パンダ（PANDA）と竹を通じて、地球への想いを毎日（DAYS）食卓に」というコンセプトで、日常生活の中で資源循環に対する気づきが芽生えることを願い、商品を製作しました。

（※1）ジャイアントパンダを7頭を飼育していた2022年当時の竹幹・枝葉の廃棄量です

■プロダクト

バターケース／トレイ／ボウル／マグ／丸プレートなど11アイテム





■プロダクトデザインのポイント

1. パンダが食べ残した、廃棄されるはずの竹資源を集成材に加工して再利用
2. 和歌山の伝統的な木工技術（※2）により、竹の強さとしなやかさを活かした機能的なテーブルウェア
3. 食卓で日常的に使っていただくことで、「地球資源の循環」に対する意識を高めていくことに貢献
4. 材料と加工のコストが非常に大きいため、使用材料を極力少なくし、加工もできるだけ単純にすることでシンプルなフォルムに

（※2）和歌山では古くから漆器が作られてきていたが、近年挽物に適した広葉樹が少なく、漆器の素地作りに桧など針葉樹の間伐材を用いる技術が発達していた。間伐材を積層したり、板材を多角形の筒状に張り合わせ轆轤加工することで材料を無駄なく使う技法が特徴。

一般販売については、日程が決まり次第アドベンチャーワールドHPなどでお知らせいたします。

■プロジェクトメンバー

プロジェクトデザイン／クリエイティブディレクション	EVERY DAY IS THE DAY	青山 尋紀 様
プロダクトデザイン	ヨシタ手工業デザイン室	吉田 守孝 様
木地師（製作）	株式会社島安汎工芸製作所	島 圭佑 様

EVERY DAY IS THE DAY

<https://www.everydayistheday.jp>

「課題解決」から「可能性創造」へ

EVERY DAY IS THE DAYは、企業や事業、行政や社会の「課題解決」だけでなく、「可能性創造」をリードするブランドエンジニアリングスタジオです。まだ存在しない可能性にカタチを与え、社会実装し、次の喜びを世界に生み出していく。その挑戦、ジャーニーを私たちとともに。

ヨシタ手工業デザイン室



<https://yoshitadesign.com/>

「手で触れ五感に感じることを大切にしたい」、「手を動かし道具や素材との対話から気づき着想したい」、そういう思いから「ヨシタ手工業デザイン室」と名前をつけました。風土や環境と伝統の豊かさに生かされていることを知り、学び、デザインすることで今日の暮らしに還元していきます。



株式会社 島安汎工芸製作所

<https://www.shimayasu.com/>

日本四大漆器の産地「和歌山県」で大正5年（1916年）に創業。創業以来、歴史と伝統で育まれた紀州塗にどこよりもこだわる。一つの製品が出来上がるまでの全工程、木取り、組立、塗りの全てを 自社工場で一貫して行い、特に漆器の命である塗りに力を入れています。

【グッドデザイン賞とは】

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org>





【パンダバンブープロジェクトについて】 <https://www.ms-aws.com/vision/sustainability/policy02/>

里山を荒廃させる竹を伐採し、ジャイアントパンダの食事として活用することで里山の環境を守り、これまで廃棄していたジャイアントパンダが食べない竹の幹の部分や食べ残した竹、糞を有効資源としてアップサイクルを推進するプロジェクトです。



【アドベンチャーワールド「SDGs宣言・パークポリシー」】 <https://www.aws-s.com/parktheme-sdgs/>

アドベンチャーワールドは、「ここにスマイル 未来創造パーク」として、すべての生命にSmile（しあわせ）が溢れる豊かな未来の地球の姿をパークで体現します。パークという“小さな地球”を通して、関わるすべての人の人生が豊かになるように、動物たちの生命がずっとつながっていくように、自然や資源が循環し再生するように、未来のSmileを創り続けていきます。

【SDGsについて】

SDGsとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。





ADVENTURE WORLD

温暖な紀伊半島の和歌山県白浜町にある陸、海、空の140種、1,400頭の動物が暮らす「ここにスマイル 未来創造パーク」をテーマに掲げたテーマパークです。人間（ひと）、動物、自然を通して、パークを訪れる一人ひとりが、前向きになるきっかけを創り、人生の未来へプラスの影響をもたらす存在でありたいと考えています。そして、笑顔あふれる明るい豊かな社会の実現に寄与し、いつまでも必要とされるパークを目指しています。また、ジャイアントパンダをはじめ、希少動物の繁殖に成功し、保護研究活動に努めています。

- | | | | |
|-------|--------------|------------|---|
| ■所在地 | : 和歌山県白浜町 | ■公式HP | : https://www.aws-s.com/ |
| ■面積 | : 80万平方メートル | ■Twitter | : https://twitter.com/aws_official |
| ■オープン | : 1978年4月22日 | ■Facebook | : https://www.facebook.com/adventureworld.official |
| ■運営会社 | : 株式会社アワーズ | ■Instagram | : https://www.instagram.com/adventureworld_official/ |
| | | ■YouTube | : https://www.youtube.com/c/adventureworld_official |
| | | ■TikTok | : https://www.tiktok.com/@adventureworldofficial |

アドベンチャーワールド公式ムービー「いのちは、なぜ？」公開中 ▶ <https://youtu.be/7vJwgg21u7Q>



Giant Panda

ジャイアントパンダ



新たな出会いと感動の空間
パンダファミリーに感動の大接近



Marine World

マリンワールド



遠い昔から一緒だった
海からのやさしい贈り物に出会う



Safari World

サファリワールド



野生を感じる、自然からの
熱いメッセージに耳を傾ける、ひととき



Play Zone

プレイゾーン



型にこだわらない遊びがまっている